

令和6年度静岡県地球温暖化防止活動知事褒賞の受賞者について

(参考)

静岡県地球温暖化防止条例（平成19年条例第31号）

第28条 知事は、事業者、県民又は民間団体の行う温室効果ガスの排出の抑制等に関する活動が、地球温暖化の防止に著しく貢献したと認められるときは、その業績を公表し、及び表彰することができる。

■選考結果

| 部門 | 被表彰者 | 標題 | 事例概要 |
|----------------|---|--|--|
| 温室効果ガス排出削減対策部門 | 大企業等の部 スズキ株式会社 (浜松市) | バイオマス樹脂の自動車部品への実装により地球温暖化防止に貢献した件 | バイオマス（植物由来資源）樹脂を自動車部品に実装することにより、自動車メーカーとして初めてバイオマスマーク認定を取得。石油資源の節約・CO2排出削減に貢献した。また、自動車内外装部品等へのセルロース樹脂活用に向け、県下の成形メーカー等を対象に、セルロース樹脂製部品の量産金型を使った試作を行い、技術習得を促した。 |
| | 中小企業等の部 山一金属株式会社 (駿東郡長泉町) | オフサイトPPAによる非化石価値付電力の使用へ切り替え | 電力使用量やCO2排出量を大幅に削減する独自のアルミ缶リサイクル技術を有する。また、2026年度のCO2排出量ゼロを目指し、自社工場の一部でオフサイトPPA（注1）による非化石価値（注2）付きの電力使用をアルミ業界で初めて開始するとともに、静岡銀行との間で締結した「寄贈型ポジティブ・インパクト・ファイナンス」に掲げたCO2削減目標(KPI)達成により「高校生夢実現プロジェクト」などの地域貢献活動を行った。 |
| 地球温暖化防止普及・啓発部門 | 学校等の部 静岡県西遠女子学園インターアクト部 (浜松市) | 環境問題を身近に！ そして意識を変える！ ～地球温暖化防止に貢献するフードロス削減活動～ | 様々な地元企業と連携し、規格外の農作物を有効活用する取組を進め、食品ロス削減や地球温暖化防止の啓発に貢献した。地元企業の野菜粉末化技術を活用し、規格外の農作物を使ったクッキーやスコーンを開発するとともに、地域のイベント等でのこれら商品の販売や、地元小学生向けのエコクッキング（料理教室）開催を通じ、食品ロス削減に向けた啓蒙活動を展開した。 |
| | 個人・団体の部 特定非営利活動法人 Earth Communication (御前崎市) | 久々生海岸 里海プロジェクト | 御前崎市の久々生海岸と、その海岸に自生群生するアマモ場の保全活動、環境学習活動を継続的に実施。大学や研究機関等と連携した調査・研究活動や、定期的な保全活動などの結果、アマモ場の群生域が拡大し、ブルーカーボンによるCO2吸収源として貢献。（Jブルークレジット（注3）の認証取得）また、企業や自治体と連携した体験プログラムや人材育成活動にも取り組んだ。 |

※注1：PPA（Power Purchase Agreement）とは電力購入契約のこと。オフサイトPPAとは敷地外の遠隔地に設置された発電設備から電力を購入することである。

※注2：再生可能エネルギーなどの非化石電源から生成された電力の環境価値。非化石価値の証書によりCO2を排出しないで電気を使用している証明になる。

※注3：カーボンクレジットのひとつで、ジャパンプルーエコノミー技術研究組合（JBE）が運営する、ブルーカーボン生態系が吸収したCO2をクレジットとして取引できる制度である。